

カーボンリサイクルの取組/CarbonCure 社への資本参画及び業務提携について

三菱商事株式会社(以下、「当社」)は、環境負荷低減に向けた取組の一つとして、コンクリート建材に CO₂ を注入するカーボンリサイクル技術を有するカナダの CarbonCure Technologies Inc. (以下、「CarbonCure」)に資本参画すると共に、同社技術の事業拡大に向けた業務提携に合意致しました。

CarbonCure のカーボンリサイクル技術は、生コンクリート製造時に CO₂ を固定化・有効利用することで CO₂ の排出源であるセメントの使用量を削減し、CO₂ を削減するものです。また、強度や信頼性は従来のコンクリートと変わらず、北米を中心に既に広く商業利用されています。

当社は、本業務提携に基づき、当社のネットワークを活用して、日本を中心としたアジアに同社技術の展開を支援し、建設業界の CO₂ 排出削減に取り組んで参ります。

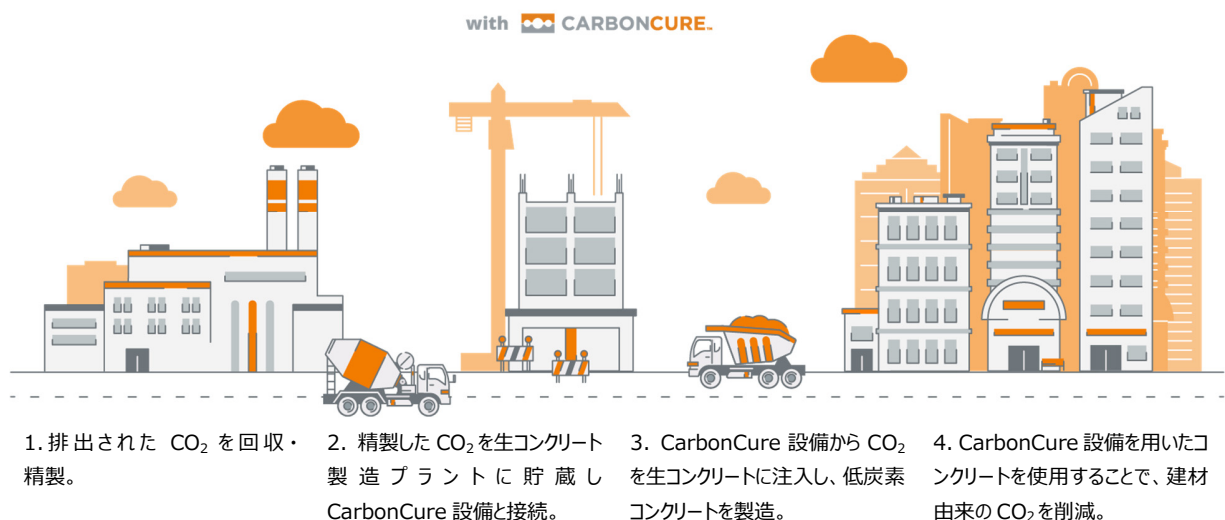
コンクリートは土木・建築構造物に不可欠な素材で、世界中に普及し市場規模が大きいことから、当社はコンクリートへの CO₂ の有効利用分野に注力して取り組んでいます。

当社は今後も、CO₂ 有効利用コンクリート CO₂-SUICOM^{※1} 及び CO₂ を用いたコンクリート骨材を開発する Blue Planet^{※2} との事業開発等を含めた CO₂ 有効利用コンクリート分野での事業化を通じて、経済価値・社会価値・環境価値の三価値同時実現に資する取組を強化して参ります。

CarbonCure 社関連設備・技術の特徴

1. 生コンクリート工場の既存の製造プロセスを大きく変更せずに、CarbonCure の開発した関連設備を設置することで、この技術を導入出来ます。また、関連設備はリースでの提供となり、低コストで導入出来ます。
2. CO₂ の注入により、セメントの使用量が削減される為、CO₂ 排出量の低減に繋がります。
3. 加えてデジタル技術を用いた CO₂ 削減量の可視化も可能です。

CO₂ の回収から建材として活用されるまでのプロセス概要



CarbonCure 社関連設備・技術の説明ビデオ

http://bit.ly/carboncure_video

CarbonCure 社の概要

- CEO である Robert Niven 氏が 2007 年にカナダ Nova Scotia 州にて創業。
- これまで北米を中心に 47 の事業者へ合計 275 ユニットの導入実績がある、コンクリート建材カーボンリサイクル分野でのグローバルリーディングカンパニー。
- 2030 年までにコンクリート産業分野における年間 5 億トンの CO₂ 削減の実現をミッションに掲げ、これまでの CO₂ 削減実績は累計で 10 万トン超。
- 2020 年 9 月に Amazon, Breakthrough Energy Ventures, Microsoft を主たる引受先とする第三者割当増資を実施し、更なる事業拡大を目指している。

※1 [CO2 有効利用コンクリートの研究開発\(2020 年 8 月 5 日\)](#)

※2 [CO2 有効利用への取組み／米国 Blue Planet Systems Corporation との協業契約締結について\(2020 年 9 月 23 日\)](#)